

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	鹿児島県	市町村名	伊佐市
-------	------	------	-----

プロジェクト名	住民と行政の協働関係構築プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 地域の特性に応じた自主的な活動を可能にする地域自治の実現のための組織づくりと、行政との新たな協働・連携のシステムづくりを推進していくために、合併前の異なる自治組織の組織体系及び活動内容並びに行政との役割分担などの統一化を図りながら、組織育成のための支援施策を実施する。</p> <p>(具体的な成果目標) 各コミュニティ協議会(校区公民館組織を含む)の独自事業の数 平成21年度目標10事業以上 〈例〉花いっぱい運動、農業体験教室、子育て支援事業、郷土料理教室、老人見守り運動、体力づくり事業、ふれあい事業、特産品事業、地域資源活用事業、いきがづくり事業等</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～22年	政策分野の分類 (①～⑫)	①地域経営改革プロジェクト
住民への公表の方法(ホームページアドレス等)	http://www.city.isa.kagoshima.jp/gyousei/pdf/ganbaru21.pdf		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
コミュニティ協議会連絡協議会運営事業	コミュニティ協議会(校区公民会組織を含む)相互の親睦と連絡提携を保ちながら、活動の向上・発展を図るための調査研究等を進めていくために運営補助を行う。	2,048 (700)
コミュニティ協議会運営事業	支所機能を保ちながらコミュニティ事業推進の中心的役割を担うものとして重要視しているコミュニティ協議会事務所(校区公民館も含む)の維持管理費を補助する。	63,454 (14,526)
コミュニティ協議会育成事業	コミュニティ協議会(校区公民館も含む)が発足し、各コミュニティ協議会が計画し実施する独自事業に対して助成を行う。	16,532 (6,400)
単位自治会特別交付金事業	単位自治会に助成する事務交付金。合併前の旧市町の制度統一のために時限的に補助する特別交付金であり、合併により自治会の体制や環境を同等程度に整備するために交付する。	65,602 (11,000)
総 計		147,636 (32,626)

その他特記事項

--

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	鹿児島県	市町村名	伊佐市
-------	------	------	-----

プロジェクト名	時代の流れに対応できる行財政改革プロジェクト	新規・継続の区分	継続
プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 市役所(行政組織)が安定的に継続した行財政運営を行い、行政経営からさらに地域経営へと繋げていくための基礎的な取り組みとして ①わかりやすく透明性の高い行政運営の実現 ②政策の再構築(将来につけを残さない事業) ③住民の視点での行政体質改革の実現 の3つを目的に掲げ、平成19年度から23年度にかけて行政評価システムの導入を図る。</p> <p>(具体的な成果目標) 事務事業評価実施率 平成23年度目標 100% 施策評価実施率 平成23年度目標 100% 事務事業評価表、施策評価表の公表率 平成23年度目標 100%</p>		
プロジェクトの期間	平成19年度～平成23年度	政策分野の分類 (①～⑫)	①地域経営改革プロジェクト
住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.city.isa.kagoshima.jp/gyousei/pdf/ganbaru21.pdf		

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
行政評価システム導入事業	平成19年度 モデル事業の選定、事務事業の成果の評価及び次年度予算へ反映 (施策評価研修を実施、議員研修の実施)	21,507
	平成20年度 総合計画の体系に基づく施策の成果の評価、課題の確認 市町村合併に伴う旧菱刈町職員に対する研修の実施	
	平成21年度 モデル事業の選定(旧菱刈町の継続事業)、事務事業評価の実施	(1,890)
	平成22年度 評価のできる政策体系の再構築(新市総合計画の策定) 平成23年度 新市総合計画との関連付け、評価との連動	
	総 計	21,507
		(1,890)

その他特記事項

※ 平成20年11月1日に旧大口市と旧菱刈町が合併したことに伴い計画期間等の変更を行った

頑張る地方応援プログラム

都道府県名	鹿児島県	市町村名	伊佐市
-------	------	------	-----

プロジェクト名	食と食文化醸成先導プロジェクト	新規・継続の区分	新規
---------	-----------------	----------	----

プロジェクトの目的、概要及び具体的な成果目標	<p>(目的、概要) 市町村合併によるまちづくり計画の主要プロジェクトに掲げる「伊佐の食と食文化」醸成プロジェクトとして、第1次産品の高付加価値化及び食サービスの充実・創造、食文化を重視する伊佐流ツーリズムの推進、地産地消の促進と食スタイルの提案など、トータル戦略として6次産業化を図るために諸事業を先導的に展開するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> 堆肥センター活用による有機肥料の循環サイクル確立 伊佐米の独自販路拡大のための無洗米機購入補助 シカ・イノシシ肉加工処理促進のための導入経費補助 地産地消による飲食店の新料理開発及び食の見本市の開催(国の2次補正活用(明線)) 農産物販売促進・地産地消協力飲食店の認証ステッカー作成(国の2次補正活用(明線)) <p>(具体的な成果目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> 水田に対する堆肥センター有機肥料の利用率 H23年度 40% 伊佐米の販路拡大のための無洗米出荷量 H23年度 5,000袋(30kg) 有害鳥獣食肉処理頭数 H23年度 イノシシ(40kg級 50頭)、ニホンジカ(50kg級 50頭) 食プロジェクト参加飲食店数 平成23年度 40件 		
------------------------	---	--	--

プロジェクトの期間	平成21年度～平成23年度	政策分野の分類 (①～⑪)	②地場産品発掘・ブランド化プロジェクト
-----------	---------------	------------------	---------------------

住民への公表の方法 (ホームページアドレス等)	http://www.city.isa.kagoshima.jp/gyousei/pdf/ganbaru21.pdf		
----------------------------	---	--	--

プロジェクトを構成する具体の事業・施策

名称	事業概要	総事業費 (単位：千円) (うちH21事業費)
堆肥センター活用促進補助	H21年度から共用開始する堆肥センターで製造する(畜産し尿活用)有機堆肥を活用し、伊佐米のブランド化に向けた高付加価値化を狙い、水田散布サービスも含めた普及促進を図る導入経費(散布機器購入・運営経費)としての補助	31,039 (18,039)
有害鳥獣加工処理施設活用促進補助	H20年度から稼働している県下初の施設であり、有害鳥獣の駆除と特産品化に向けた食肉利用促進のために、加工システムが安定稼働するまでの導入経費としての補助	4,399 (2,399)
		()
総 計		35,438 (20,438)

その他特記事項

※ 平成20年11月1日に旧大口市と旧菱刈町が合併したことに伴い新規プロジェクトとして計上